

使用前に本ラベルを必ず読み、記載事項を守って使用すること。

動物用医薬品

牛用エプリノメクチン製剤

牛の内部寄生虫及び外部寄生虫駆除剤

使用基準

# イーオントピカル<sup>®</sup>

2023年11月改訂

承認指令書番号

30動薬第2233号

貯法

遮光保存

販売開始

2020年6月

## 【成分及び分量】

品名	イーオントピカル
有効成分	エプリノメクチン
含量	本品1mL中、エプリノメクチン5mgを含有する。

## 【効能又は効果】

牛の下記の内部寄生虫及び外部寄生虫の駆除

牛：内部寄生虫－オステルターク胃虫、クーベリア、毛様線虫、ネマトジルス、牛鞭虫、牛鉤虫及び牛肺虫

：外部寄生虫－疥癬ダニ（食皮ヒゼンダニ）、シラミ及びハジラミ

## 【用法及び用量】

体重1kg当たりエプリノメクチンとして500µg（本剤として0.1mL）を1回、牛の背線部のき甲から尾根にかけて直線的に注ぐ。

## 【使用上の注意】

（基本的事項）

1. 守らなければならないこと （一般的注意）
<ul style="list-style-type: none"><li>本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。</li><li>本剤は定められた用法・用量を厳守すること。</li><li>本剤は獣医師の指導の下で使用すること。</li><li>本剤は「使用基準」の定めるところにより使用すること。</li></ul>
注意：本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物（牛）について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守してください。 牛：食用に供するために殺する前20日間

## （使用者に対する注意）

- 使用時における喫煙及び飲食は避けること。
- 皮膚や眼に直接付着しないよう注意すること。
- 使用時には手袋を装着し、使用後は手を洗うこと。

## （牛に関する注意）

- 本剤は外用以外に使用しないこと。
- 投与後1時間以内に雨に曝される恐れがある場合は、投与しないこと。
- 汚泥や糞が付着した皮膚には投与しないこと。
- 本剤の反復投与を行う際の投与間隔は、残留性を考慮し、20日以上とすること。

## （取扱い及び廃棄のための注意）

- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- 使用後は計量カップや投薬器をはずし、キャップを閉めて保管すること。
- 本剤の開封後の保管はキャップを上に向けて横倒しにならないようにすること。
- 本剤は魚及びある種の水棲生物に影響を与えることがあるので、容器及び残りの薬剤は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

## 2. 使用に際して気を付けること

### （使用者に対する注意）

- 誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合は、直ちに石鹸等で洗い流すこと。
- 眼に入った場合は、直ちに流水で洗うこと。
- ウサギ及びラットを用いた実験室試験において、本剤の添加剤であるN-メチルピロリドンが胎子毒性を示したため、妊婦又は妊娠している可能性のある女性による投与は避けること。出産可能な年齢の女性が本剤を取り扱う場合は、手袋などの保護具を着用すること。

### （牛に関する注意）

- 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- 本剤を食道あるいは脊柱周辺の組織中にウシバエ幼虫が寄生している牛に投薬した場合、幼虫の死の結果として本剤投与後に鼓脹症、よるめき又は運動麻痺がみられる可能性がある。これらの二次反応はウシバエ幼虫が食道あるいは脊柱周辺の組織中に移行する前又はウシバエの活動終期以後に投与することで避けることができる。本剤の適切な投与時期については、獣医師に相談すること。

### （取扱い上の注意）

- 350kg未満の牛に投与する場合は、シリンジ等を用いて薬剤を正確に計り投与すること。
- 350kg以上の牛に投与する場合、1Lボトルは計量カップ等を用いて投与すること。5L及び6.5Lの背負い式ボトルでは計量可能な投薬器を用いて投与すること。

危険物第四類

第三石油類

危険等級Ⅲ・火気厳禁

ダイズ油・ポビドン

## 【製品情報お問い合わせ先】

エランコジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂四丁目15番1号

お問い合わせ先メールアドレス：marketing\_jp@elanco.com

## 【製造販売元（輸入発売元）】

エランコジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂四丁目15番1号



獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所（<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>）にも報告をお願いします。

イーオントピカル、Elanco 及び ：エランコ又はその関連会社の商標です。

© 2024 Elanco or its affiliates

SH701515A